



故從三位勳二等西源四郎叙勳

右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和三年一月十日

内閣總理大臣爵田中義一



内閣



昭和三年一月十日 内閣書記官長

内閣書記官

内閣總理大臣 五

賞勳局總裁



故從三位勲二等西源四郎儀ハ明治二十六年六月外務省試補ヲ命セラレ同年十一月外務省參事官ニ任官爾來累進シテ特命全權公使ニ任セラレ大正十三年四月退官ニ至ルマテ在官三十年餘其ノ間大使館參事官トシテ澳國在勤ノ際ハ大使不在中臨時代理大使トシテ克ク任國政府トノ諸交

賞勳局

涉ニ任シ機宜ヲ謬ラス又特命全權公使トシテ暹羅國駐劄中ハ日暹兩國ノ親和輯睦上寄與セル所尠カラス大正十年祕露國獨立百年祭舉行ノ際ハ特派大使トシテ參列能ク使命ヲ全フシ殊ニ羅馬尼亞國駐劄特命全權公使トシテ在任中ハ同國ニ對スル帝國ノ最初ノ公使トシテ當時大戰後日尚淺ク諸般ノ關係極メテ機微ナルモノアルニ當リ折衝最モ意ヲ用ヒ措置宜シキヲ得彼我國交増進上貢

獻セル所甚カラス其ノ功績顯著ノ者ニ
候處本月九日死去セル趣ニ付此際持ニ
同日附ヲ以テ旭日重光章加授セラレ度
此段允裁ヲ仰ク

内

閣

勳二等旭日重光章

故從三位勳二等(瑞)西源四郎

右者明治二十六年六月外務省試補ヲ命セラレ同年十一月外務省參事官ニ任シ高等官七等ニ敍セラレ爾來公使館三等書記官、公使館二等書記官、公使館一等書記官、大使館一等書記官ニ歷任シ獨國和蘭國、奧國ニ在勤シ明治四十五年四月大使館參事官ニ任シ高等官二等ニ敍セラレ奧國在勤被仰付大正四年一月特命全權公使ニ任シ暹羅國駐劄被仰付大正六年五月高等官一等ニ陞敍次テ大正九年六月勳二等ニ敍シ瑞寶章ヲ授ケラレ大正十年十一月羅馬尼亞國駐劄被仰付大正十三年四月依願本官ヲ免セラレタルモノナル處初任以來在官三十個年有餘此間大使館參事官トシテ奧國在勤ノ際ハ同

國駐劄帝國大使不在中臨時代理大使トシテ克ク任國政府トノ諸交
涉ニ任シ機宜ヲ謬ラス又特命全權公使トシテ暹羅國駐劄中ハ同國
皇帝陛下本邦御來遊ノ御内議アリ當時此間ニ處セル同官ノ努力多
大ニシテ右御來遊ノ儀ハ其後遂ニ實現ニ至ラサリシモ爲ニ日暹兩
國ノ親和輯睦上寄與セル所尠カラサルモノアリ大正十年祕露國獨
立百年祭舉行ノ際ハ特派大使トシテ參列ノ爲出張被仰付同年七月
同國ニ出張シ克ク其使命ヲ全フシ殊ニ羅馬尼亞國駐劄特命全權公
使トシテ在任中ハ同國ニ對スル帝國ノ最初ノ公使トシテ當時大戰
後日尙淺ク諸般ノ關係極メテ機微ナルモノアルニ當リ任國政府ニ
對シ折衝最モ意ヲ用ヒ措置宜シキヲ得彼我國交増進上貢獻セル所
多大ナル等多年恪勤精勵其職責ヲ盡シ且大正四年以後ハ遣外使臣

めくれず

裏面白紙

トシテ帝國外政ニ效セル功績顯著ニ有之候處本月九日死去致候ニ
付テ君積年ノ功勞ヲ録セラレ特ニ生前ノ口付ヲ以テ頭書ノ通敍勳被仰出
候様仕度此段謹テ奏ス

昭和三年一月十日

外務大臣男爵 田 中 義



外務省

履 歴 書

府 籍 山口縣士族原籍

舊姓名

元特命全權公使從三位勲二等 西 源 四 郎

文久二年十月廿五日生

年 號	月 日	任 免 賞 罰 等	廳 名
明治廿六年	六月十四日	外務省試補ヲ命ス 年俸六百円下賜 通商局勤務ヲ命ス 任外務省參事官	
全	十一月十日	敘高等官七等 賜九級俸	
全	十二月十六日	敘從七位	
外 務 省			
明治廿年	四月三十日	御用有之清國、被差遣	
全	十月三十日	敘勲六等授瑞宝立早	
全	全	明治廿七八年事件ノ功ニ依リ勲六等瑞 宝立早及金三百円ヲ授ケ賜フ	
明治廿九年	七月七日	陞敘高等官大等	
全	十月廿月	敘正七位	
明治三年	四月一日	任公使館三等書記官 敘高等官大等 獨國在勤ヲ命ス 出發	
全	四月六日	出發	
明治廿一年	十二月廿日	任公使館二等書記官 敘高等官五等	
明治廿二年	二月二十日	敘從六位	

明治三十二年	三月四日	和蘭國在勤ヲ命ス
全	三月十六日	出發
全	九月廿三日	獨國皇帝陛下ヲ贈與シタル赤紙島第四等勲章ヲ受領シ及佩用スルヲ允許セラル
全	十月六日	填國在勤ヲ命ス
全	十二月廿七日	授暹光旭日章
明治三十四年	九月廿日	陞敘高等官四等
全	十月十日	敘正大位
全	十二月廿七日	敘勳五等授瑞寶章
明治三十五年	十二月廿日	授雙光旭日章
明治三十三年	十二月八日	明治三十三年清國事變ニ於ケル功ニ依リ雙光旭日章ヲ授ケ賜フ 任分使館一等書記官
明治廿九年	四月一日	敘高等官四等 敘勳四等授旭日小綬章
全	十月廿日	明治三十七年事件ノ功ニ依リ勳四等旭日小綬章及金十條ヲ授ケ賜フ
全	二月一日	陞敘高等官三等
明治卅年	二月廿六日	敘從五位
全	二月廿六日	任大使館一等書記官
全	二月廿六日	敘高等官三等
全	二月廿六日	歸朝
明治卅一年	十月十日	填國在勤ヲ免ス
明治卅二年	十二月四日	臨時外務省事務ニ從事スルコトヲ命ス
全	十二月廿八日	待命中本俸全額ヲ賜フ
全	十二月廿八日	政務局第二課長心得兼第三課長心得ヲ命ス

外務省

明治四十三年	四月十四日	羅馬法王台下ヨリ贈與シタル「コマンドール」 ルドン、ドサン、シルベスル勳章ヲ受領シ及ヒ佩 用スルヲ允許セラシ
明治四十三年	八月二十日	奥地利國皇帝陛下ヨリ贈與セラルシタル「コマ ンドール、ドロルドン、ドフランソア、ジョセフ」屋 建勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラシ
明治甲午年	三月廿日	敘正五位
全	四月三十日	任大使館參事官
全	七月十二日	敘高等官二等 墺國在勤被仰付 東京出發
大正元年	一月廿五日	兼任分使館一等書記官 敘高等官三等
大正元年	六月十八日	瑞西國在勤ヲ命ス
大正三年	六月廿六日	敘勳三等授瑞寶章
全	九月廿六日	歸朝ヲ命ス 臨時外務省事務ニ從事スルコトヲ命ス
全	十月廿二日	符命中本條全額ヲ賜フ 歸朝
大正四年	一月廿日	任特命全權公使 敘高等官二等
全	三月十三日	暹羅國駐劄被仰付 東京出發
全	十月十日	大禮紀念章授與
大正五年	四月一日	授旭日中綬章 大正三四年事件ノ功ニ依リ九日中綬章及

外務省

大正六年	三月三十日	敍從四位	金千百円ヲ授ケ賜フ
全	五月三日	陞敍高等官一等	
大正九年	五月廿七日	歸朝ヲ命ス	
全	六月廿五日	敍勳二等授瑞寶章	
全	九月十六日	東京着	
全	十一月十日	暹羅國皇帝陛下ヲ贈典シテ王冠茅	
全		一等勳章ヲ受領シテ佩用スルヲ允許	
全		セラル	
全	十一月廿二日	暹羅國駐劄被免	
大正十年	四月十八日	臨時外務省ノ事務ニ從事スルコトヲ命ス	
全		待命中小俸全額ヲ賜フ	
全		秘露國獨立百年祭ニ特派使節トシテ	
大正十年	五月廿九日	參列ノ為同國へ出張被仰付	
全	七月十六日	東京出發	
全		秘露國獨立百年祭ニ特派大使トシテ參	
全		列ノ為同國出張被仰付	
全	七月十八日	到着	
全	十月十二日	東京着	
全	十月十六日	羅馬尼亞國駐劄被仰付	
全	十二月廿三日	東京發	
大正十年	四月廿日	敍正四位	
全	十月六日	羅馬尼亞國皇帝陛下ニ戴冠式ニ特派大使ト	
全		シテ參列被仰付	
大正十二年	三月廿日	羅馬尼亞國皇帝陛下ヲ贈典シテ	
全		クラウノロア、エト、アルド、ルーマニアニ勳章ヲ受領	

外務省

急

朝

人機密第一〇號

昭和三年一月十日

外務大臣男爵 田中 義

内閣總理大臣男爵 田中 義 一 殿



(赤 押 紙)

從三位勳二等西源四郎敍勳ニ關スル件

本月十日附人機密第九號ヲ以テ從三位勳二等西源四郎危篤敍勳ノ儀
上奏致候處同人ハ本月九日死亡致候ニ就テハ特ニ生前ノ日附ヲ以テ
勳章下賜相成候様御取計相成度此段申進候也

外 務 省

裏面白紙

27

閣外勅第二号

人機密第九號

昭和三年一月九日

外務大臣男爵 田中 義

内閣總理大臣男爵 田中 義 一 殿

故從三位勳二等西源四郎危篤敍勳ノ件

改從三位勳二等西源四郎危篤敍勳ノ儀別紙ノ通上奏致候間至急可然御
取計相成度此段申進候也



(赤梓紙)

裏面白紙

外務省

28